



【計数基準の変遷】  
 A型地震  
 2010年10月1日(観測開始)～ 瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内  
 BH型地震  
 初期 2010年8月2日～2013年9月30日 瀬戸山南振幅0.8 $\mu$ m/s以上  
 変更 2013年10月1日～ 瀬戸山南振幅4.0 $\mu$ m/s以上

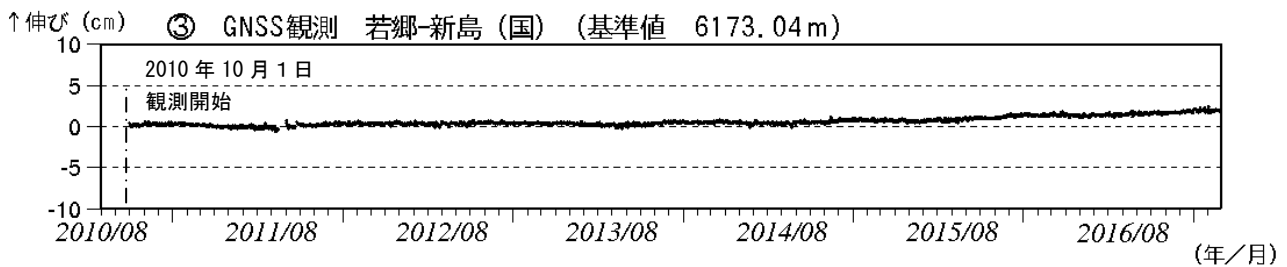
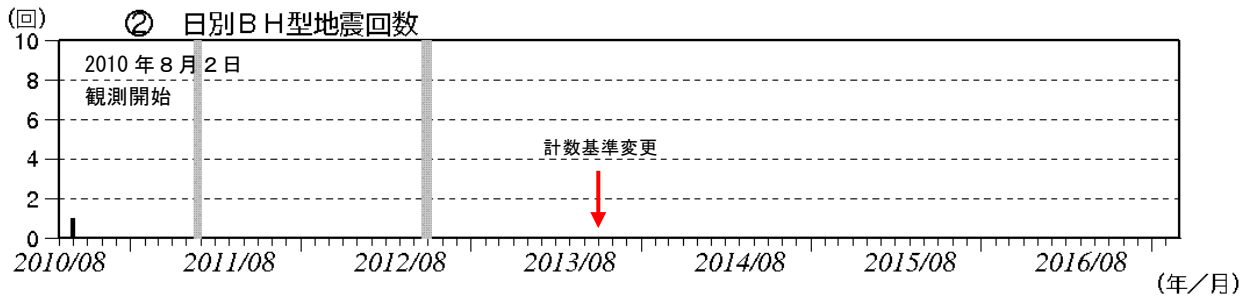
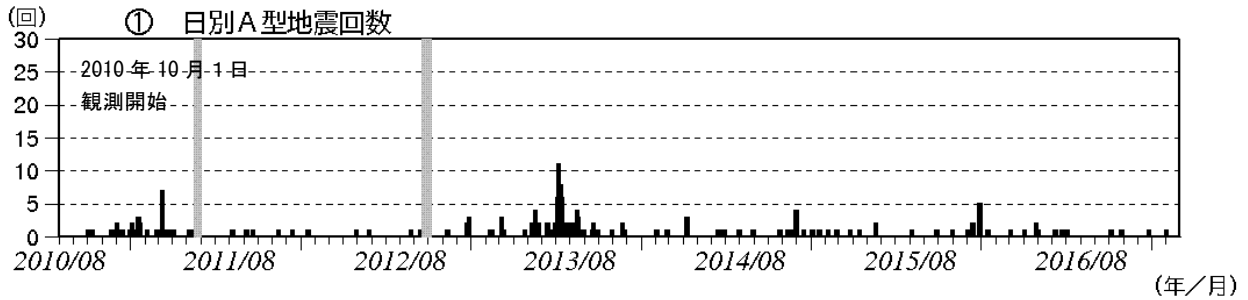


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2017年2月28日)

- ①②新島周辺の日別地震回数
  - ・図の灰色部分は機器障害のため欠測を示します。
- ③ GNSS 連続観測による基線長変化 (国) : 国土地理院
  - ・③は図1のGNSS基線③に対応しています。
  - ・グラフの空白部分は欠測期間を示します。

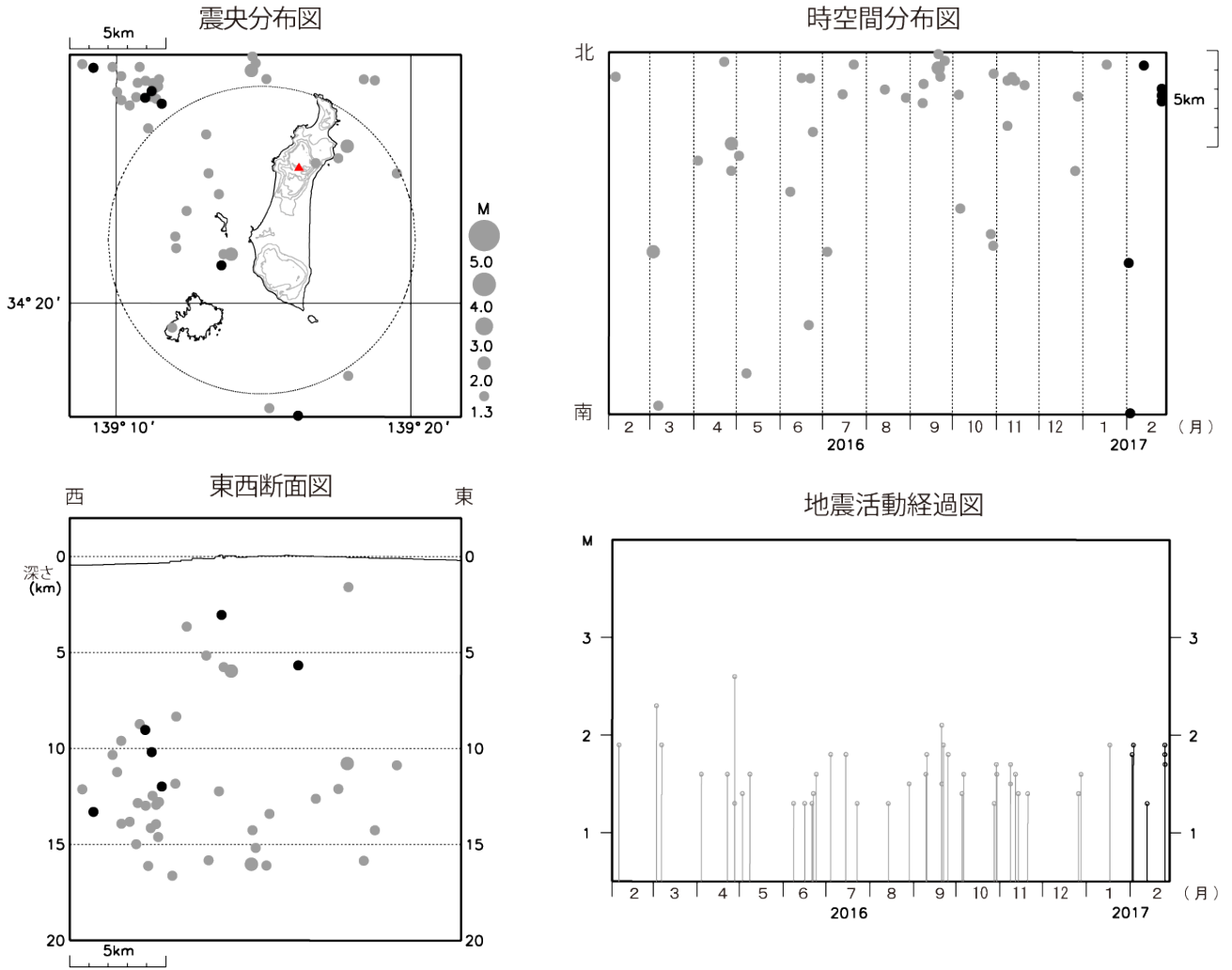


図 4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2016 年 2 月 1 日～2017 年 2 月 28 日）

- : 2016 年 2 月 1 日～2017 年 1 月 31 日    ● : 2017 年 2 月 1 日～2 月 28 日
- ・ M（マグニチュード）は地震の規模を表し、M1.3 以上の地震を示しています。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・ 計数対象（瀬戸山南から半径 8 km、深さ 20km 以内）以外の地震が含まれるため、図 3-① の日別 A 型地震回数とは異なります。